

2019年度の年間の活動

1. 活動方針

イベント活動、自治連合会への参加と共同運営、景観協定の申請受付・協議、アドプト活動を継続する。一方、イベントへの参加促進方法や子ども会の運営方法の検討、集会所やホームページの有効活用、街区内の交通安全や防犯の促進、植栽管理・景観協定・各担当の活動内容の見直しなども行う。

2. 具体的な活動内容

1) 季節ごとのコミュニティイベント

イベントを通じ、まち全体の交流を図る。

春：泉北レモンの苗植樹及びフロマージュ試食会を実施することで住民同士の交流
警察にお越し頂き交通安全指導実施による安全意識向上を図る

夏：地域の夏祭りへ出展し、全員参加での事前準備、当日の店番等で一体感を醸成

秋：かまどベンチや仮説トイレなどの併設設備を利用し、防災意識の再確認

かまどベンチでは試食会を実施することで住民同士の交流

リユースマーケットを実施することで住民同士の交流

校区内の医院に来てもらいインフルエンザの予防接種を行い住民の健康増進

冬：校区内のマラソン大会に進んで参加し、健康づくり

2) 自治連合会行事への積極参加

地域全体のサマー・ウィンタークリーン、花火大会での周辺道路の交通整理、文化作品展、クリスマスイベント、ウォーキング大会、防災訓練など地域が主催する行事への積極参加。

3) 景観協定の理解度向上

植栽管理や物置設置ルール、カーポート新設などの説明会及びスマ・エコホームページ掲載を随時実施。

4) アドプト活動

毎月第3日曜日に各班持ち回りでまち全体の清掃活動を実施。

5) 子ども会

季節ごとのイベントを通じて、子育て世代の交流を深める。

春：里山を利用したウォークラリー

夏：すいか割り

冬：クリスマス会・マラソン大会

受賞を契機に新たに取り組んでいること

1. まち全体の交流拡大に向けた各種イベントへの参加促進

1) 役員会傍聴による自治会活動の周知

スマ・エコタウン晴美台自治会は7年目を迎え、役員経験者も増えたことから「交流を深めることの大切さ、イベントに参加することの楽しさ」がまち全体に浸透してきている。

交流会を実施することで、役員未経験者とのコミュニケーションの活性化が図れ、積極的に自治会活動及びイベントへの参加者を増やすことができた。

また歴代の役員がイベント継続的に成功していただいた結果、イベントへの参加戸数の増加に繋がった。

課題としては、イベント参加者は多くなったものの、まだ参加されていない方もいらっしゃるため、自治会活動のホームページ掲載や自治会役員は持ち回り順の関係上、役員を担当するのが数年先になるメンバーを毎月数名ずつ指名し、役員会を傍聴してもらうことで活動への理解と積極的なイベント参加を促すことに取り組んでいる。

2) イベント開催の案内を工夫

まち全体への連絡事項やイベント開催の案内などは、ホームページのお知らせ掲示板を活用していた。しかしながら、入居開始から5年目から、ホームページを閲覧しない人も多くなってきており、情報共有手段の再検討が必要となった。

そこで、ホームページ閲覧方法の再レクチャー、ブックマークへの登録、お知らせ掲示板へ新規書き込み時のメール通知設定及びアドレス登録、回覧板や案内状ポスティングに取組み、イベント開催情報が全戸に行き渡るよう工夫している。

3) 役員の仕事分担

入居開始から7年を迎え、少しずつ役員の仕事量が増えてきている状況の中、一部役員の仕事量が多くなってきており再検討する事となった。

今後、理事会を運営していくにあたり、理事長・自治会長の仕事を比較的役割が少ない担当へ分担。自治会活動への出席については、自治会長の都合が合わない場合に理事会役員メンバーで調整を行い交代で出席して、自治会長が仕事の無理な調整をしないよう協力。今後も必要に応じて検討していく事となった。

4) 交流会の開催

家に比較的にない事が多い男性を中心に「おっさん交流会」のコミュニティを作成。
夏祭りの打上げも兼ねた「スマ・エコ懇親会」のコミュニティを作成。
住民同士の交流や顔を覚える事やまちの防犯アップにも繋がっている。

調査検討費の使途

- コミュニティイベント及び自治連合会、子ども会行事での準備費、備品等

【春イベント】

レモンの苗植樹講座講師代・レモンの木及び植樹代、絵画展での備品（絵の具、クレパス、画用紙、額など）など

【夏イベント】

夏祭りでの店番担当への飲料

【秋イベント】

炊き出し用の食材、飲料、防災セミナー外部講師代など

【アドプト活動】

活動メンバーへの飲料

【子ども会】

各イベントでの食材、飲料

【役員会】

毎月の役員会での飲料など

近い将来取り組まなければならない課題

1. まちの景観維持

入居から7年目を踏まえ、樹木が枯れ・灌水装置の故障し多額の水道料金が発生。樹木の植替え、灌水装置の修理を実施。まちの景観を維持していくため、樹木医に相談していただき診断していただいた結果、地層の状況から水はけが悪いが判明。毎日水やりは不要。灌水装置を止め、若いレモンの樹は、2年間水やりが必要なことから自治会メンバーで当番を決め、水やり実施。また季節毎の水やりについてはホームページで各家庭へ周知を実施。定期的に樹木の状況を把握し、景観を維持していく。

2. まち管理費予算の再検討

まち管理費（自治会費を含む）を現状の毎月費用で継続運用するため、WEBコンテンツ・樹木管理費の見直しを検討。

WEBコンテンツについては、利用頻度や必要性のアンケートを実施し、次回総会で廃止を検討。

また樹木管理については、数社に見積もり依頼中。品質を保ちつつ、費用を抑えることでよりよいまちづくりをめざす。

3. 自治連合会との関わりを強化

まち全体の交流は年々深まっているが、校区自治連合会との関わりはまだ希薄な部分がある。今年度よりは、自治連合会内にある各部会（体育部、文化部、青少年部など）へ役員から代表者を立て、次年度以降も継続実施することで自治連合会行事の把握と校区内最新情報の共有、行事への参加促進を行う。